

麻生商店街振興組合



派遣情報

- 派遣期間: 2025年8月～2026年2月
- 派遣応援隊員: 鈴木 俊介(オールマイティ支援部門)
- 派遣内容: 今後の活動についての相談



悩み

- 人口が多く交通の要衝にある「あさぶ商店街」が事業者の個別の活動で盛り上がる中で、振興組合の活動は後追いになり、存在意義が不明瞭になりつつある。一方で、組合加入者かどうかを問わず、事業者の有志が商店街を盛り上げる活動に取り組む新たな流れが見られる。振興組合では、理事会と事務局が活動を担うが、意思統一や人員の不足により、効果的な活動ができていない。



マッチング

- ❖ 道内企業の共同開発や海外展開を支援するワークショップの進行役も務めるなど、現場に寄り添いながら新たなビジネスチャンスを創出され、また北海道よろず支援拠点にも在籍されている鈴木俊介さんを派遣



取り組み

- 事業者の活況に対し、組合の対応が「後追い」かつ「過重負担」である構造的課題を特定。
- 既存の枠組みに縛られない「プロジェクトチーム（PT）制」を立案。試験導入により、組織の機動性を向上。
- 試行結果の聞き取りと評価を実施。成果と改善点を可視化し、次年度以降の安定的運用に向けた提言を完遂。



取り組みの結果

1. 新制度導入による業務効率化への期待

新制度の導入に伴い、理事および事務局の業務負担軽減に向けた基盤が整いました。今後の安定的かつ円滑な運用を通じて、組織運営の効率化が実現されるものと期待されます。

2. 「あさぶセッション」による組織活性化と会員増

「あさぶセッション」の開催を通じて、商店街活性化への目的意識を共有し、多彩なプロジェクト案を創出することができました。この機運の高まりが、組合への新規加入促進という具体的な成果に結びつきました。

3. 組織の「自走」に向けた新たな原動力の獲得

本支援を通じて、組合活動を共にする「新たな人材（仲間）」と「有効な手法（武器）」を提示できました。これが呼び水となり、理事会においても、より活発かつ建設的な議論が行われる土壌が形成されました。

2025年12月15日

あさぶ商店街をもっと活性化したい
「プロジェクトチーム制度」のご提案



1. 「プロジェクトチーム」制度とは

概要：

活動：

組織：

理事会



商店街の声

本年度、当商店街への意見を集約し組合運営の参考とするため、若手組合員や非組合員の若手を集めた会合を企画いたしました。鈴木氏のアドバイスは、この会合の立ち上げにおいて大変有益でした。従来、こうした企画は「組合員」の枠内に限定して考えがちでしたが、今回は視野を広げ、「麻生に興味・関心を持つ人」へ広く呼びかけを行いました。その結果、多くの若手に参加していただけただけでなく、参加者が新たに組合へ加入するという具体的な成果にも繋がり、今後の商店街活性化に向けた大きな一歩となりました。